



日本列島各地に膨大に残されている古文書や歴史的建造物などの「歴史遺産」。これらは急激な社会の変化や世代交代、大規模災害などを契機に、大量消滅の危機に瀕している。本シンポジウムでは、歴史遺産を守り、未来へと伝えてゆくための新たな取り組みについて議論する。

東北大学東北アジア研究センター シンポジウム

歴史遺産を未来へ

2010年 11月13日(土) (開場 12:30) 13:00~18:00 会場/ 東北大学川内萩ホール 2階会議室

主催：東北大学東北アジア研究センター

共催：NPO法人宮城歴史資料保全ネットワーク / 地域歴史資料学研究会 / 東北大学防災科学研究拠点



報告／

平川 新 『古文書を千年後まで残すための取り組み』

(東北大学東北アジア研究センター教授)

佐藤大介 『歴史学における過去の清算－仙台版「古文書返却の旅」』

(東北大学東北アジア研究センター助教)

蝦名裕一 『「学・官・民」連携による資料保全－くりでん資料保全活動の現在－』

(東北大学東北アジア研究センター教育研究支援者)

新 和宏 『千葉県における文化財救済ネットワークシステムの構築と課題』

(千葉県立中央博物館教育普及課長)

西村慎太郎 『地域に遺された資料の保存活動の実践と課題－伊豆と甲州から－』

(国文学研究資料館准教授)

コメント／ 菅野正道 (仙台市史編さん室長) 久留島浩 (国立歴史民俗博物館副館長)

討論司会／ 奥村 弘 (神戸大学大学院人文学研究科教授)

入場無料

事前申し込みは不要です。

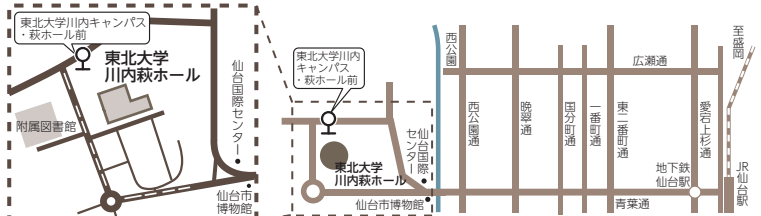
会場のご案内

東北大学川内萩ホール

仙台市青葉区川内40 (東北大学川内キャンパス内)

バス/仙台駅前9番のりばより「宮教大・青葉台行」または「青葉通経由動物公園循環」に乗り、「東北大川内キャンパス・萩ホール前」で下車 (乗車時間約15分) 徒歩3分

タクシー/仙台駅から約10分、仙台空港から約40分



お問い合わせ：
東北大学東北アジア研究センター
022-795-7546 (担当直通)
[mail] d-sato@cneas.tohoku.ac.jp